

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名：切断砥石 両面補強 AHX 外径106mm×厚さ1.0mm/1.2mm ノンスリップタイプ

会社名：株式会社MonotaRO

所在地：〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階

担当者名：商品お問合せ窓口

電話番号：0120-443-509

FAX 番号：0120-289-888

緊急連絡先：所在地と同じ

整理番号：M220902

### 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2

皮膚感作性：区分 1

生殖細胞変異原性：区分 1B

発がん性：区分 2

生殖毒性：区分 1B

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 1

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 2

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)：区分 3

水生環境有害性 長期(慢性)：区分 3

(注) 記載なきGHS分類区分：区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

強い眼刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

遺伝性疾患のおそれ

発がんのおそれの疑い

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

長期継続的影響によって水生生物に有害

## 注意書き

### 安全対策

- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 環境への放出を避けること。
- 粉じんを吸入しないこと。
- 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- 保護手袋を着用すること。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 指定された個人用保護具を使用すること。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

### 応急措置

- 特別な処置が必要である。
- 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
- 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

### 貯蔵

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 施錠して保管すること。

### 廃棄

- 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：  
混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
酸化アルミニウム	1344-28-1	60 - 70	1-23
フェノール樹脂	9003-35-4	10 - 20	7-903
ガラスファイバー	-	10 - 20	-
ヘキサフルオロアルミン酸三ナトリウム	13775-53-6	1 - 10	-
カーボンブラック	1333-86-4	1 - 10	-
酸化チタン	13463-67-7	1 - 10	1-558
アクリロニトリル・ブタ-1,3-ジエン重合体	9003-18-3	1 - 10	6-454
ヘキサメチレンテトラミン	100-97-0	1 - 10	5-1155
フェノール	108-95-2	< 1	3-481
非晶質シリカ	7631-86-9	< 1	1-548
炭酸カルシウム	471-34-1	< 1	1-122
硫酸バリウム	7727-43-7	< 1	1-89
メタノール	67-56-1	< 1	2-201
酢ビ-塩ビ共重合樹脂	9003-22-9	< 1	6-76; 6-82
酸化ナトリウム	1313-59-3	< 1	1-495
ホルムアルデヒド	50-00-0	< 1	2-482
2,5-ジ-tert-アミルヒドロキノン	79-74-3	< 1	-
トリス(2,4-ジ-tert-ブチルフェニル)ホスファイト	31570-04-4	< 1	3-3510
ペンタエリスリトール-テトラキス[3,(3',5'-ジ-tert-ブチル-4'-ヒドロキシフェニル)プロピオネート]	6683-19-8	< 1	3-1693

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

## 危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

酸化アルミニウム，ヘキサフルオロアルミン酸三ナトリウム，カーボンブラック，酸化チタン，  
フェノール，  
ヘキサメチレンテトラミン(令和7年4月1日施行)

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

酸化アルミニウム，ヘキサフルオロアルミン酸三ナトリウム，カーボンブラック，酸化チタン，  
フェノール，メタノール，  
ヘキサメチレンテトラミン(令和7年4月1日施行)

化管法(令和5年3月31日まで有効)「第1種指定化学物質」該当成分

ヘキサメチレンテトラミン

化管法(令和5年4月1日施行)「第1種指定化学物質」該当成分

ヘキサメチレンテトラミン

## 4. 応急措置

## 応急措置の記述

吸入した場合(使用時に発生する粉じん)

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合(使用時に発生する粉じん)

皮膚に付着した場合:多量の水/適切な薬剤で洗うこと。  
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合(使用時に発生する粉じん)

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。  
その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合(使用時に発生する粉じん)

口をすすぐこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。

医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

## 5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

特有の危険有害性

特有の危険有害性データなし

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

(使用時などに発生した粉じんが漏出した場合)

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

粉じんが飛散しないようにする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集めて、容器に回収する。

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

使用時に発生する粉じんを吸入しないこと。

(注意事項)

使用時に発生する粉じんが皮膚に触れないようにする。

使用時に発生する粉じんが眼に入らないようにする。

使用時に発生する粉じんの堆積を防止する。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋を着用すること。  
 保護眼鏡/保護面を着用すること。  
 指定された個人用保護具を使用すること。

接触回避データなし

衛生対策

使用時に発生する粉じんを眼、皮膚、衣類につけないこと。  
 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。  
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
 取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件データなし

安全な容器包装材料データなし

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度

(メタノール)

作業環境評価基準(1995)  $\leq 200\text{ppm}$

(ホルムアルデヒド)

作業環境評価基準(2007)  $\leq 0.1\text{ppm}$

許容濃度

(カーボンブラック)

日本産衛学会(第2種粉塵)(吸入性粉塵)  $1\text{mg}/\text{m}^3$ ; (総粉塵)  $4\text{mg}/\text{m}^3$

(酸化チタン)

日本産衛学会(第2種粉塵)(吸入性粉塵)  $1\text{mg}/\text{m}^3$ ; (総粉塵)  $4\text{mg}/\text{m}^3$

(フェノール)

日本産衛学会(1978)  $5\text{ppm}$ ;  $19\text{mg}/\text{m}^3$  (皮)

(メタノール)

日本産衛学会(1963)  $200\text{ppm}$ ;  $260\text{mg}/\text{m}^3$

(ホルムアルデヒド)

日本産衛学会(2007)  $0.1\text{ppm}$ ,  $0.12\text{mg}/\text{m}^3$ ; (最大許容濃度)  $0.2\text{ppm}$ ,  $0.24\text{mg}/\text{m}^3$

(酸化アルミニウム)

ACGIH(2008) TWA: (非溶性化合物)  $1\text{mg-Al}/\text{m}^3(\text{R})$  (じん肺症、下気道刺激、神経毒)

(カーボンブラック)

ACGIH(2011) TWA:  $3\text{mg}/\text{m}^3(\text{I})$  (気管支炎)

(酸化チタン)

ACGIH(2021) TWA:  $2.5\text{mg}/\text{m}^3(\text{R})$  (下気道刺激; 肺塵症)

(ヘキサメチレンテトラミン)

ACGIH(2020) TWA:  $1\text{mg}/\text{m}^3(\text{IFV})$  (皮膚感作)

(フェノール)

ACGIH(1996) TWA:  $5\text{ppm}$  (上気道刺激; 肺損傷; 中枢神経系障害)

(硫酸バリウム)

ACGIH(2014) TWA:  $5\text{mg}/\text{m}^3(\text{I, E})$  (じん肺症)

(メタノール)

ACGIH(2009) TWA:  $200\text{ppm}$ ;

STEL:  $250\text{ppm}$  (頭痛; 眼損傷; めまい; 吐き気)

(ホルムアルデヒド)

ACGIH(2017) TWA:  $0.1\text{ppm}$ ;

STEL:  $0.3\text{ppm}$  (上気道及び眼刺激 ; 上気道がん)

## 特記事項

(ヘキサメチレンテトラミン)  
 皮膚感作性  
 (フェノール)  
 皮膚吸収  
 (メタノール)  
 皮膚吸収  
 (ホルムアルデヒド)  
 皮膚感作性; 呼吸器感作性

## ばく露防止

## 設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。  
 洗眼設備を設ける。  
 手洗い/洗顔設備を設ける。

## 保護具

## 呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

## 手の保護具

保護手袋を着用する。

## 眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

## 皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：固体

色：黒色

臭い：無臭

臭いの閾値データなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点データなし

自然発火点データなし

分解温度データなし

pHデータなし

動粘性率データなし

溶解度:

水に対する溶解度データなし

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度データなし

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

## 10. 安定性及び反応性

## 反応性

反応性データなし

## 化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

## 危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

## 避けるべき条件

避けるべき条件データなし

## 混触危険物質

混触危険物質データなし

## 危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物データなし

## 11. 有害性情報

## 毒性学的影響に関する情報

## 急性毒性

## 急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(酸化チタン)

rat LD50 >5000mg/kg (SIDS, 2015)

(フェノール)

rat LD50=375mg/kg (計算値)

(メタノール)

human LD50=ca. 1400mg/kg (DFGOT vol.16, 2001)

(ホルムアルデヒド)

rat LD50=600-700mg/kg, 800mg/kg (SIDS, 2003)

## 急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(酸化チタン)

hamster LD50>10000mg/kg (HSDB, Access on May 2016)

(フェノール)

rat LD50=670mg/kg (EHC 161, 1994)

(メタノール)

rabbit LD50=15800mg/kg (DFGOT vol.16, 2001)

(ホルムアルデヒド)

rabbit LD50=270mg/kg (HSDB, Access on Jun. 2017)

## 急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]

(ヘキサフルオロアルミン酸三ナトリウム)

mist: rat LC50=4.47mg/L/4hr (ECHA RAC, 2010)

(酸化チタン)

dust: rat LC50 >5.09mg/L (SIDS, 2015)

(メタノール)

vapor:rat LC50>31500ppm/4hr (DFGOT vol.16, 2001)

(ホルムアルデヒド)

gas: rat LC50=480ppm/4hr (SIDS, 2003)

## 労働基準法: 疾病化学物質

ヘキサフルオロアルミン酸三ナトリウム; ホルムアルデヒド; メタノール; フェノール

## 局所効果

## 皮膚腐食性/刺激性

[日本公表根拠データ]

(フェノール)

ラビット/ヒト 腐食性 (EHC 161, 1994)

(ホルムアルデヒド)

ヒト 皮膚刺激性 (ATSDR Addendum, 2010); EU CLP Skin Corr. 1B (ECHA CL Invt., Access on Jun. 2017)

## 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[日本公表根拠データ]

(ヘキサフルオロアルミン酸三ナトリウム)

ラビット 7日以内に回復 (ECHA RAC, 2010)

(フェノール)

ラビット 非可逆的作用 (EHC 161, 1994)

(メタノール)

ラビット 区分2: Draize test (EHC 196, 1997)

(ホルムアルデヒド)

ヒト/ラビット 眼刺激性 (EHC 89, 1989)

(ガラスファイバー)

区分2

## 呼吸器感作性又は皮膚感作性

## 皮膚感作性

[日本公表根拠データ]

(ヘキサメチレンテトラミン)

cat. 1; EU-RAR, 2008

## 生殖細胞変異原性

[日本公表根拠データ]

(フェノール)

cat. 1B; CERI/NITE有害性評価書 No.32, 2005

変異原性が認められた化学物質 [厚労省局長通達]

(ヘキサメチレンテトラミン)

## 発がん性

[日本公表根拠データ]

(カーボンブラック)

cat.2; IARC Gr. 2B (IARC 93, 2010 et al.)

(酸化チタン)

cat.2; IARC Gr. 2B (IARC 93, 2010 et al.)

[IARC]

(カーボンブラック)

Group 2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(酸化チタン)

Group 2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(フェノール)

Group 3: ヒトに対する発がん性については分類できない

(酢ビ-塩ビ共重合樹脂)

Group 3: ヒトに対する発がん性については分類できない

(ホルムアルデヒド)

Group 1: ヒトに対して発がん性がある

[ACGIH]

(酸化アルミニウム)

A4(2008): ヒト発がん性因子として分類できない

(カーボンブラック)

A3(2011): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(酸化チタン)

A3(as Finescale particles)(2021): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(ヘキサメチレンテトラミン)

A4(2020): ヒト発がん性因子として分類できない  
(フェノール)

A4(1996): ヒト発がん性因子として分類できない  
(ホルムアルデヒド)

A1(2017): 確認されたヒト発がん性因子

[日本産衛学会]

(カーボンブラック)

第2群B: ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質  
(酸化チタン)

第2群B: ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質  
(ホルムアルデヒド)

第2群A: ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質  
[NTP]

(ホルムアルデヒド)

Known: ヒト発がん性があることが知られている物質

[EU]

(ホルムアルデヒド)

Category 1B; ヒトに対しておそらく発がん性がある物質

#### 生殖毒性

[日本公表根拠データ]

(ヘキサメチレンテトラミン)

cat. 2; EU-RAR, 2008

(フェノール)

cat. 1B; CERI/NITE有害性評価書 No.32, 2005

(メタノール)

cat. 1B; mouse : PATTY 5th, 2001

#### 特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分2]

[日本公表根拠データ]

(ヘキサフルオロアルミン酸三ナトリウム)

肝臓、呼吸器 (EU-RAR, 2008)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(酸化アルミニウム)

気道刺激性 (ICSC, 2000)

(ガラスファイバー)

区分3

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

(メタノール)

麻酔作用 (PATTY 5th, 2001)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(酸化アルミニウム)

肺 (EHC, 1997)

(ヘキサフルオロアルミン酸三ナトリウム)

胃、歯、肝臓、神経系、肺、骨、腎臓 (ECHA RAC, 2010)

(カーボンブラック)

呼吸器 (SIDS, 2007)

(酸化チタン)

呼吸器 (SIDS, 2015)

(ヘキサメチレンテトラミン)  
 全身毒性、腎臓、膀胱 (EU-RAR, 2008; HSDB, 2015)  
 (ガラスファイバー)  
 呼吸器 区分1  
 誤えん有害性データなし

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

#### 水生環境有害性

長期継続的影響によって水生生物に有害

#### 水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(ヘキサフルオロアルミン酸三ナトリウム)

甲殻類 (ミジンコ) EC50=10.0 ppm (US EPA RED, 1996)

(カーボンブラック)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50 >5600mg/L/24hr (SIDS, 2007)

(酸化チタン)

甲殻類 (オオミジンコ) EL50 > 100mg/L/48hr (SIDS, 2015)

(ヘキサメチレンテトラミン)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50 >100mg/L/48hr (環境省, 2002)

(フェノール)

甲殻類 (ネコゼミジンコ属の一種) LC50=7.83mg/L/48hr (4つ以上報告の幾何平均値)

(硫酸バリウム)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50=32mg/L/48hr (CICADs, 2001)

(メタノール)

甲殻類 (ブラインシュリンプ) LC50=900.73mg/L/24hr (EHC196, 1998)

(ホルムアルデヒド)

甲殻類 (オオミジンコ) LC50=2mg/L/24hr (WHO EHC, 1989)

#### 水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(ヘキサメチレンテトラミン)

甲殻類 (オオミジンコ) NOEC >99mg/L/21days (環境省生態影響試験, 2002)

(フェノール)

魚類 (ファットヘッドミノー) NOEC=0.75mg/L/30days (NITE初期リスク評価書, 2007)

(ホルムアルデヒド)

甲殻類 (ニセネコゼミジンコ) NOEC (生残率)=1.0mg/L/7days (NICNAS PEC, 2006)

#### 水溶解度

(酸化アルミニウム)

溶けない (ICSC, 2000)

(カーボンブラック)

溶けない (ICSC, 2010)

(酸化チタン)

溶けない (ICSC, 2002)

(ヘキサメチレンテトラミン)

44.9 g/100ml (PHYSROP\_DB, 2005)

(フェノール)

溶ける (ICSC, 2001)

(炭酸カルシウム)

非常に溶けにくい (14 mg/l, 25°C) (ICSC, 2012)

(硫酸バリウム)

溶けない (ICSC, 1999)

(メタノール)

100 g/100 ml (PHYSROP\_DB, 2009)

(酸化ナトリウム)  
 反応する (ICSC, 2006)  
 (ホルムアルデヒド)  
 混和する (ICSC, 2012)

#### 残留性・分解性

(ヘキサメチレンテトラミン)  
 急速分解性なし (BOD分解度 : 22%/14 days; TOC分解度 : 45%/14 days; HPLC分解度 : 48%/14 days  
 (通産省公報, 1979))  
 (フェノール)  
 急速分解性あり (2週間でのBODによる分解度: 85%; TOCによる分解度: 95% (既存点検, 1979))  
 (ホルムアルデヒド)  
 急速分解性あり (BODによる分解率: 91% (化審法DB, 1989))

#### 生体蓄積性

(ヘキサメチレンテトラミン)  
 log Pow=-2.84 (ICSC, 2002)  
 (フェノール)  
 log Pow=1.46 (ICSC, 2001)  
 (メタノール)  
 log Pow=-0.82/-0.66 (ICSC, 2000)  
 (ホルムアルデヒド)  
 log Pow=0.35 (PHYSPROP DB, 2005)

#### 土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

#### 他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

### 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報  
 廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。  
 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。  
 承認された廃棄物集積場で処理する。  
 下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

### 14. 輸送上の注意

#### 国連番号、国連分類

国連番号またはID番号 : 該当しない  
 正式輸送名 : 該当しない  
 分類または区分 : 該当しない  
 容器等級 : 該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程) に該当しない

IATA 航空危険物規則書に該当しない

#### 環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止  
 海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

#### 特別の安全対策

特別の安全対策データなし

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

本品はバルク輸送されない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。  
 航空法に該当しない。

## 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令  
毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない製品

有機溶剤等に該当しない製品

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

酸化アルミニウム(別表第9の189); ヘキサフルオロアルミン酸三ナトリウム(別表第9の516の2);

カーボンブラック(別表第9の130); 酸化チタン(別表第9の191); フェノール(別表第9の474);

ヘキサメチレンテトラミン(別表第9,令和7年4月1日施行)

名称通知危険/有害物

酸化アルミニウム(別表第9の189); ヘキサフルオロアルミン酸三ナトリウム(別表第9の516の2);

カーボンブラック(別表第9の130); 酸化チタン(別表第9の191); フェノール(別表第9の474);

メタノール(別表第9の560);

ヘキサメチレンテトラミン(別表第9,令和7年4月1日施行)

化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年3月31日まで有効)

第1種指定化学物質

1,3,5,7-テトラアザトリシクロ[3.3.1.1(3,7)]デカン(別名ヘキサメチレンテトラミン)(1.5%)[(1-258)]

化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年4月1日施行)

第1種指定化学物質

1,3,5,7-テトラアザトリシクロ[3.3.1.1(3,7)]デカン(別名ヘキサメチレンテトラミン)(1.5%)[(管理番号258)]

消防法に該当しない。

化審法

優先評価化学物質

ホルムアルデヒド(政令番号25 人健康影響/生態影響); フェノール(政令番号62 人健康影響)

大気汚染防止法

有害大気汚染物質

ヘキサメチレンテトラミン(中環審第9次答申の120)

フェノール(中環審第9次答申の185)

有害大気汚染物質/優先取組

ホルムアルデヒド(中環審第9次答申の224)

特定物質 政令第10条第1号から第28号

フェノール(政令第10条第17号)

メタノール(政令第10条第6号)

ホルムアルデヒド(政令第10条第5号)

土壌汚染対策法

第二種特定有害物質 重金属等

ヘキサフルオロアルミン酸三ナトリウム

政令番号22:

含有量 <= 4000 mg/kg

溶出量 <= 0.8 mg/liter

第二溶出量 <= 24 mg/liter

地下水 <= 0.8 mg/liter

土壌環境 <= 0.8 mg/liter

水質汚濁防止法

有害物質

ヘキサフルオロアルミン酸三ナトリウム

法令番号 25: 海域以外 8mg-F/liter, 海域 15mg-F/liter

## 指定物質

酸化アルミニウム

法令番号 44

ヘキサメチレンテトラミン

法令番号 56

フェノール

法令番号 55

ホルムアルデヒド

法令番号 1

## 16. その他の情報

## 参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN  
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN  
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)  
IATA 航空危険物規則書 第62版 (2021年)  
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)  
2022 TLVs and BEIs. (ACGIH)  
JIS Z 7252 : 2019  
JIS Z 7253 : 2019  
2021 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)  
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)  
Supplier's data/information  
GESTIS-Stoffdatenbank  
Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

## 責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和2年度(2020年度))です。